

INAKEN PRESS

稲津けんご通信

発行元: 稲津けんご後援会 代表: 稲津けんご

〒183-0041 東京都府中市北山町2-26-15

☎: (042)806-9777 Mail: inazu.kengo@gmail.com

URL: www.inaken.gr.jp



曲げない、負けない、あきらめない 2015年2月号

後援会アンケートから見える市民の関心事

稲津けんご氏は、各ご家庭を訪問する際や、事務所を尋ねて下さる方があった際に、パンフレットをお渡ししています。その中に「後援会アンケート」のハガキがあり、生活する上で関心があるテーマをご回答いただく項目がございます。今回は、2015年1月31日(土)までに事務所にご返送いただいたハガキから、

皆様がどのようなテーマに関心を持っているのかを集計し、発表いたします。

※ 本アンケートでは23項目の中から複数回答可で選んでいただきました。ご協力ありがとうございました。引き続き、アンケートの回答や後援会入会を受け付けています。

最大の関心事は「高齢者福祉」と「介護保険制度」

後援会アンケートで同率首位となったのは「高齢者福祉」と「介護保険制度」でした。府中市は65歳以上の方が市全体の18.2%を占めており、15歳未満の方の人口(市全体の13.4%)を大きく上回っています。今後とも高齢の方が増え続けることも予想されるだけに、若い世代も含めて、深刻に向き合わねばなら

ない問題であると感じているようです。

また、紙面にて、介護施設の不足や入居時の費用の高さ、サービスの不十分さを訴える方もありました。安心して老後を迎えられる環境を整えることが急務と言えそうです。

(参考資料 『府中市統計書 平成25年版』)

「子どもの教育」「医療制度」にも高い関心

続いて関心が高かったのが「子どもの教育」「医療制度」でした。どちらも、世代を問わず挙がっているのが印象的でした。

前者の意見として、これからを担う子どもや若者の支援も重要と言う声もございました。また、後者については医療機関の不足や高騰する医療費、通院する際の交通機関の不便さを訴える声もありました。さて、皆様の関心事はいかがでしょうか。

● 市民の関心度ランキング ●

- 1位: **高齢者福祉、介護保険制度**
- 2位: **子どもの教育、医療制度**
- 3位: **清掃・環境整備、保育行政の充実、
府中市議会の取り組み**
- 4位: **防犯対策、人権問題、障がい者福祉、
市財政、災害対策**

誰も見捨てない地域社会にするための**政策**を発表

稲津けんごはこの3年間、一市民として民間で働きながら、親の介護、地域活動、市民活動などをしてきました。それらの経験が今後の府中市政に活かされるためには、福祉と健康、災害対策、子育て支援など「ヒト」への投資と支援が必要と稲津氏は訴えています。

それらの政策について、稲津氏は具体的な案を公表し、1月号では「福祉・健康」をご紹介します。今回はアンケートでも4位に入った「災害対策」を取り上げます。詳細は稲津けんごホームページでも掲載していますが、その概要をお知らせいたします。

災害対策

災害に負けない環境づくり

稲津けんご氏は、自身の親の介護を通じて、終末期の家族の寄り添いや医療や介護サービスなど、当事者のニーズに対応した施策を推し進めることを発表しました。また、NPO 法人で緊急支援担当として岩手県釜石市で被災地支援活動を行い、現地での「お茶っこ会」などのイベントを通じて健康問題や仮設住宅に住む方々の心の復興にも取り組んできました。府中市においても、そうした活動に取り組む民間団体との連携やその活動に伴う経済的支援をしていくよう、稲津氏が政策の一環として提言していきます。



住宅の耐震補強の促進

特に府中市郊外の地域では、築年数が古い住宅が多くございます。住宅の耐震補強に対して助成を行うなど、「家」から震災対策を進めます。

広域避難場所やその通路の整備

広域避難場所そのものの安全性を確保し、道路の修繕や電線の地中化も含めて、「避難」が「リスク」とならない整備を行います。

必要な物資や支援が全体に行き届く体制整備

持病のある方や、被害の規模が大きい方など、災害発生時に行う一律の支援だけでは不十分なケースもございます。確実に送り届ける支援に加え、必要に応じて適材適所の支援が行える体制を災害発生前から整えてまいります。



稲津けんご プロフィール



1968年 府中市北山町生まれ、
 1981年 府中第七小学校卒業
 1984年 私立和光中学校卒業、
 1987年 都立狛江高等学校卒業
 1992年 米国南アラバマ大学 学士号取得
 1998年 米国ピッツバーグ大学修士号取得

1999年 府中市議会議員 初当選
 以来3期12年任期満了
 2012年 一橋大学大学院研究補助員
 2013年 NPO法人 緊急支援担当
 2014年 稲津けんご事務所 開設
 市民生活相談活動に取り組む